

揺らぐ皆保険制度

尾張旭市でも200人以上が無保険状態

「国民すべてが何らかの医療保険制度に加入し病気やけがをした場合に医療給付が得られること」を国民皆保険といいますが、その土台とも言える国民健康保険で、半年以上保険証を持たない人が、市内に200人以上いることが川村議員の調査でわかりました。

国保税の滞納を理由に市では通常の保険証より有効期間が短い短期保険証を発行しています。短期保険証は郵送で届けられず、市役所へ受け取りに行かなければならず、受け取りに行った際に国保税の納税を求められます。「収納率を上げるために接触の機会を作る」という名目で実施されています

が、半年以上保険証を取りに来ていない人が、尾張旭市では225人います。

死を招く 無保険状態

こうした無保険状態を放置しておくと、治療が間に合わず、手遅れで亡くなる人が発生します。

全日本民医連が3月に発表した調査結果では、経済的な理由で医療機関への受診が遅れ、結果として死亡に至ったと考えられる事例が09年の1年間で43例。このうち国保税滞納などによって無保険、短期証、資格証明書となり、病状が悪化し死亡に至ったと考えられるのは33例だといっています。

が調査対象のため、この数は氷山の一角と思えます。

市は 早急な対応を

この問題は「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」(憲法25条)がはく奪されている問題です。

国は小池晃参議院の追求をきっかけに、昨年末「短期保険証の交付に際しての留意点について」という通知を出し、速やかに保険証を手元に届けるよう求めています。尾張旭市の対応は通知から半年経過しても改善されていません。

時の保険証送付が求められます。健診など体のメンテナンスに心がけなければならぬ年齢、40代〜50代で無保険状態が増加することも、手遅れで亡くなる人を出さないように早急に手を打つべきです。



ないように早急に手を打つべきです。

年齢	4月末市人口(A)	5月末区保人口(B)	6月7日現在短期保険者数(C)	3期連続留め置き保険証(D)	国保加入割合(B/A)	長期無保険率(D/A)	国保内長期無保険率(D/B)
0~4	3986	554	15	1	13.90%	0.25%	1.81%
5~9	4247	648	47	5	15.26%	1.13%	7.72%
10~14	4241	669	80	4	15.77%	0.94%	5.98%
15~19	3981	594	91	8	14.92%	2.01%	13.47%
20~24	4094	672	73	14	16.41%	3.42%	20.83%
25~29	4583	825	58	20	18.00%	4.35%	24.24%
30~34	5673	988	45	15	17.42%	2.64%	15.18%
35~39	7451	1305	69	30	17.51%	2.83%	15.33%
40~44	6196	1070	112	23	17.27%	3.71%	21.50%
45~49	5168	942	103	23	18.23%	4.45%	24.42%
50~54	4533	815	100	27	17.98%	5.93%	33.13%
55~59	5074	1254	84	16	24.71%	3.15%	12.76%
60~64	6257	2816	102	24	45.01%	3.84%	8.52%
65~69	5578	3980	65	15	70.99%	2.69%	3.79%
70~74	4001	3130	34	7	78.23%	1.75%	2.24%
75~	6485	-	15	3	-	-	-
計	81548	20242	1093	225	26.97%	2.73%	11.12%

※日付のあるものは全て2010年。
※3期連続留め置きとは、少なくとも半年以上無保険状態と思われる数。
※国保加入割合の計は、75歳未満で計算してある。
※注、無保険率については、‰(パーミル):1000分の1。

40代からの無保険増加。背景に介護保険料か？

無保険の人数が40代になると急激に増加する理由の一つに、推論として考えられるのは、40歳から国保税と同時に集められる介護保険料の存在です。

モデル的な家族構成では、子どもはあまり病気にならない年齢に達し、学費など出費がかさむ、親もまだ無理が利く。そういう状態で、突然介護保険料の徴収がはじまるのです。

年齢的に体のメンテナンスに心がけ、将来の医療費抑制や要介護状態の防止を考えて欲しいのですが、政策の副作用で逆の結果を招いているのではないのでしょうか。

無保険問題を6月21日に川村議員が議会質問します。



5月27日。
市役所ロビーで時々開いている、ポケットコンサート。
いつも人だかりができます。



6月10日。
今年も平和行進が尾張旭市にやってきました。
市民会館前で、通し行進者の方があいさつしました。
1歩でも2歩でも歩こう！の呼びかけに、
党市議団も市役所から尾張旭郵便局前まで歩きました。



6月16日。
市役所ロビーには、広報あさひの表紙を飾ったバルーンアートが飾ってあります。
風船なので、ときどきこうして空気を入れています。

6月議会党議員団の質問項目 と 議会日程

塚本みゆき議員の質問

(18日(金)午後見込み)

1. 介護保険について
 - (1) 小規模多機能型居宅介護施設の設置について
 - (2) 介護認定者への障害者控除に関して
 - ア. 対象者の拡大について
 - イ. 申請書を認定書に切り替えることについて
 - ウ. 対象者全員に送付を行うことについて
 - (3) 介護サービス利用料の低所得者減免について
 - (4) 介護保険料の低所得者減免について

川村つよし議員の質問

(21日(月)午前10時半頃から)

1. 尾張旭市の地価に応じた道路占用料改定について
 - (1) 道路占用料の改定計画について
 - (2) 当市の地価に応じた改定について
2. 医療無保険状態の実態について
 - (1) 国保の短期保険証の取り扱いについて
 - (2) 国から出された留意点の内容について
 - (3) 留め置き(預かっている)

短期保険証被保険者の年齢構成について
 - (4) 無保険状態で亡くなる人を解消してゆくために

議会日程

本会議個人質問

17日・18日・21日

福祉文教委員会 23日(水)…塚本議員

都市環境委員会 24日(木)

総務委員会 25日(金)…川村議員

本会議 最終日 30日(水)

開始はいずれも 午前9:30～



6月14日。
市議会本会議終了後、建設中の新給食センターを見学してきました。9月から稼働します。